

「子ども110番の家」「かけこみ所」 活動の手引き



子どもの駆け込みが あったら…

「子ども110番の家」「かけこみ所」は
子どもが危険を感じたとき等に駆け込む
緊急避難先です

❖ 1. 落ち着いて

あなたが興奮してしまうと、子どもを興奮させてしまいます。
まず落ち着き、やさしく語りかけましょう。

❖ 2. 安全を確保

不審者が追いかけてくる恐れがあります。玄関の鍵をかけるなどしてください。
子どもがケガをしていたら、手当てをお願いします。

❖ 3. 話を聞く

何があったのか、子どもが答えられる範囲で聞き出してメモをとってください。

- ☐ 何があったの？ ☐ いつ？ ☐ どこで？
☐ どんな車だった？何色だった？
☐ 顔をおぼえている？ ☐ どっちに逃げた？

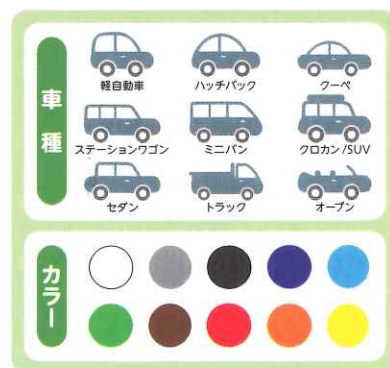
❖ 4. 警察に連絡

- ①「子ども110番の家」、「かけこみ所」であること
②子どもの駆け込みがあったこと
③子どもに聞いた内容を話してください。

子どもが電話に出られるようなら子どもに代わってください。

❖ 5. 警察官や保護者が来るまで子どもを保護

事件などについての積極的な会話は避け、
子どもが安心できるようにそばについていてください。



引き受け家庭(事業所)の方へ

- 子どもの見やすい場所に「子ども110番の家」、「かけこみ所」を示す看板・ステッカー等を掲示してください。
- 子どもの登下校の時間帯には、できるだけ在宅するか、自宅周辺で見守り活動の参加に努めましょう。
- 日ごろから「おはよう」「さようなら」と気軽に声をかけあえる関係を築きましょう。
- 駆け込みがあったとき、誰でも対応できるように家族や従業員のかたにも対応の仕方を知らせておきましょう。

警察は**110番**
救急は**119番**